

平成 23 年度 中国五県 消防関係者大会

H23. 8. 17(水)

島根県知事の溝口でございます。主催者を代表して、一言ご挨拶を申し上げます。

本日、中国五県消防関係者大会が、多くの来賓の皆様のご臨席を賜り、ここ島根県松江市において開催されますことを、誠に喜ばしく思います。県外から島根にお越しいただきありがとうございます皆様に心より歓迎申し上げます。

消防に携わっておられる皆様には、第一線に立ち、日夜 献身的に活動していただいておりますことに対しまして、心から感謝を申し上げます。

東日本での大地震・大津波の中で、住民避難などのための活動中に命を落とされた消防職員・消防団員の方々が相当数にのぼっているとお聞きしております。お亡くなりになられた方々のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

またこの大震災では、中国五県の消防職員の皆様も、震災発生直後から、緊急消防援助隊として被災地に入り、捜索や救助などの活動に従事されました。皆様のご尽力に対し、心から敬意を表する次第であります。

この度の震災では、それぞれの地域に根ざした地元消防団の活動の重要性が改めて認識されました。そして、地域の安心・安全を守る消防への期待は、益々大きくなっております。

このような中、中国五県の消防関係の皆様が一堂に会し、意見交換や体験発表を行い、交流を深められることは、互いの技術を高め、広域での連携を進める上で大変大事であります。この大会が皆様にとって、実り多いものとなるようお祈り申し上げます。

さて、お出でいただきました島根は、古来、「神々の国」であり、「神話の国」、「縁結びの国」であります。来年 平成 24 年は、「ヤマタノオロチ退治」や「国譲り神話」などの島根を舞台とした神話が多く登場する「古事記」が編纂されてから 1300 年目を迎えます。また翌 25 年には、60 年に一度の「出雲大社の大遷宮」が執り行われます。

県では、この機会に「神々の国しまねの魅力」を全国の方々に知っていただくために、キャンペーン事業を進めています。

今年 10 月には、イベントとして、「全国夜神楽フェスティバル」を松江城で開催します。

そして、来年 7 月から 11 月までは、出雲大社周辺で神話の博覧会「神話博しまね」を開催いたします。皆様には、今回あるいは次の機会に、島根に沢山あります古き良き世界に足を運んでいただければ幸いです。

また、ここ松江では開府 400 年でいろいろな行事が現在行われております。この度の松江滞在をぜひお楽しみいただきたいと思います。

終わりに、お集まりの皆様のご健勝と一層のご活躍を祈念し、ご挨拶といたします。